

18歳意識調査

「第62回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」
報告書

日本財団 2024年4月3日

目次

内容	ページ
調査概要	3
自分の国の重要な課題	4
自国の現在の競争力について	5
10年後の自国の競争力について	6
自分の国の将来について	7
自国について	8
自国のジェンダー意識・結婚・子育て観	11
自国で暮らす大人にとって重要な資質	12
自分自身について	13
自分の生活についての満足度	14
自身と社会の関わりについて	15
情報・メディアに触れる頻度	17
学校で勉強をする意味として重視してきたもの	19
仕事を選ぶうえで重視するもの	20
なりたい職業	21
人生において大切にしたいと思っていること	22

第62回18歳意識調査「国や社会に対する意識（6カ国調査）」 調査概要

エリア

日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド

調査対象

各国の17歳～19歳男女

回答数

各国1,000名

※下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男	166	167	167	500
女	166	167	167	500
計	332	334	334	1,000

実施期間

2024年2月22日（木）～3月5日（火）

調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも各国全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

自分の国の重要な課題

日本では、「少子化」「高齢化」「経済成長」の順に重要な課題だと考えられている割合が高い。また、他の国よりも「自然災害」と「ジェンダー格差」が上位に来ている。

質問3：下記に示す課題のうち、現在の自国にとって重要なものはどれだと考えますか。3つまで選択してください。
(複数回答3つまで)

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)	
1位	少子化 47.6%	1位	貧困 42.1%	1位	貧困 48.7%	1位	教育の質 36.4%	1位	少子化 51.0%	1位	貧困 40.2%
2位	高齢化 39.3%	2位	人種等による差別・偏見 34.5%	2位	経済成長 33.4%	2位	高齢化 35.8%	2位	高齢化 38.4%	2位	環境汚染 37.4%
3位	経済成長 25.2%	3位	気候変動・温暖化 32.6%	3位	気候変動・温暖化 28.8%	3位	経済成長 33.5%	3位	経済成長 23.6%	3位	教育の質 33.8%
4位	自然災害 21.8%	4位	教育の質 26.6%	4位	人種等による差別・偏見 27.5%	4位	環境汚染 32.8%	4位	気候変動・温暖化 22.1%	4位	気候変動・温暖化 21.8%
5位	ジェンダー格差 19.3%	5位	経済成長 24.4%	5位	テロ・犯罪 25.2%	5位	気候変動・温暖化 22.5%	5位	教育の質 21.1%	5位	テロ・犯罪 21.5%
6位	教育の質 17.0%	6位	テロ・犯罪 23.0%	6位	移民の増加 23.5%	6位	資源の循環・枯渇 20.1%	6位	ジェンダー格差 20.2%	6位	経済成長 21.3%
7位	貧困 15.3%	7位	環境汚染 20.5%	7位	教育の質 22.4%	6位	自然災害 20.1%	7位	環境汚染 17.6%	7位	人種等による差別・偏見 15.6%
8位	食糧問題（フードロスを安定確保） 12.8%	8位	食糧問題（フードロスを安定確保） 20.0%	8位	食糧問題（フードロスを安定確保） 17.8%	8位	食糧問題（フードロスを安定確保） 17.5%	8位	人種等による差別・偏見 14.2%	8位	食糧問題（フードロスを安定確保） 15.5%
9位	気候変動・温暖化 12.7%	9位	移民の増加 18.8%	9位	環境汚染 17.5%	9位	ジェンダー格差 16.3%	9位	テロ・犯罪 13.8%	9位	ジェンダー格差 14.6%
10位	環境汚染 9.6%	10位	ジェンダー格差 9.6%	10位	ジェンダー格差 11.6%	9位	貧困 16.3%	10位	食糧問題（フードロスを安定確保） 12.4%	10位	高齢化 11.8%
11位	人種等による差別・偏見 7.3%	11位	自然災害 8.3%	11位	高齢化 9.8%	11位	人種等による差別・偏見 10.2%	11位	資源の循環・枯渇 11.6%	11位	自然災害 11.4%
12位	移民の増加 6.7%	12位	高齢化 6.4%	12位	少子化 5.1%	12位	少子化 9.2%	12位	自然災害 10.0%	12位	移民の増加 8.4%
13位	テロ・犯罪 6.6%	12位	資源の循環・枯渇 6.4%	13位	資源の循環・枯渇 5.0%	13位	テロ・犯罪 7.5%	13位	移民の増加 9.6%	13位	資源の循環・枯渇 4.7%
14位	資源の循環・枯渇 5.8%	14位	少子化 5.6%	14位	自然災害 4.0%	14位	移民の増加 7.0%	14位	貧困 8.1%	14位	少子化 4.4%
その他	3.0%	その他	2.1%	その他	2.9%	その他	0.9%	その他	1.9%	その他	1.4%

自国の現在の競争力について

日本では「文化・芸能」「スポーツ」「科学・技術・医学」の順に、他国と比較して競争力が高いとの回答が多く、「外交・グローバルリーダーシップ」「軍事・防衛」「経済・GDP」の順に、他国と比較して競争力が高いとの回答が少なかった。中国は、項目毎の回答にばらつきが少なく、全ての項目において8割以上が競争力が高いと回答した。

質問1：以下の項目での現在の自国の競争力は、他国と比較してどうだと思いますか。（単一回答、各国n=1,000）
※「高い」+「どちらかといえば高い」の回答率を、高い順に掲載

	日本 (%)	アメリカ (%)	イギリス (%)	中国 (%)	韓国 (%)	インド (%)
文化・芸能	71.4	スポーツ 81.7	スポーツ 80.8	軍事・防衛 94.9	文化・芸能 84.9	軍事・防衛 84.2
スポーツ	70.5	軍事・防衛 80.5	科学・技術・医学 76.5	外交・グローバルリーダーシップ 92.4	科学・技術・医学 82.0	スポーツ 83.1
科学・技術・医学	66.5	科学・技術・医学 79.1	教育 74.3	経済・GDP 92.1	教育 77.5	科学・技術・医学 83.1
教育	54.6	宇宙開発 74.8	軍事・防衛 70.7	宇宙開発 91.9	経済・GDP 74.7	文化・芸能 82.5
社会保障・福祉	51.0	文化・芸能 74.5	文化・芸能 69.2	科学・技術・医学 91.2	軍事・防衛 74.6	宇宙開発 77.6
宇宙開発	48.9	外交・グローバルリーダーシップ 62.0	社会保障・福祉 63.4	文化・芸能 88.6	スポーツ 74.2	外交・グローバルリーダーシップ 74.4
経済・GDP	43.6	社会保障・福祉 58.4	外交・グローバルリーダーシップ 54.5	スポーツ 86.8	社会保障・福祉 65.3	教育 73.4
軍事・防衛	40.9	経済・GDP 58.0	経済・GDP 53.8	社会保障・福祉 85.1	外交・グローバルリーダーシップ 63.4	経済・GDP 70.0
外交・グローバルリーダーシップ	39.3	教育 55.7	宇宙開発 45.7	教育 84.2	宇宙開発 59.2	社会保障・福祉 64.9

10年後の自国の競争力について

日本では「スポーツ」「科学・技術・医学」「文化・芸能」の順に、「強くなる」との回答が多かった。「宇宙開発」「外交・グローバルリーダーシップ」「軍事・防衛」については、現在の競争力が高いと回答した割合※よりも、今後強くなると回答した割合が約10ポイント程度高かった。中国とインドにおいては、項目毎の回答にばらつきが少なく、全ての項目において中国では9割以上、インドでは8割以上が「強くなる」と回答した。

※p.5ご参照

質問8：10年後、以下の分野での自国の競争力は、他国と比べてどうなると思いますか。（単一回答、各国n=1,000）

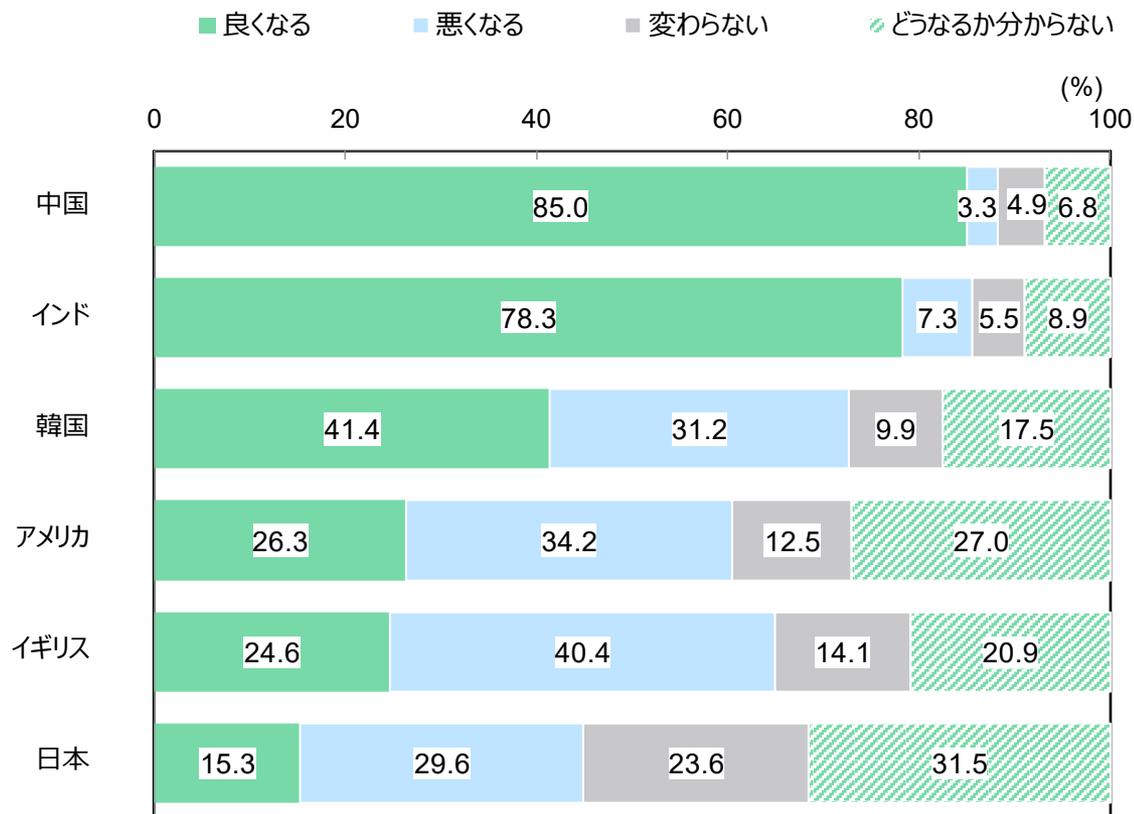
※「強くなる」+「どちらかといえば強くなる」の回答率を、高い順に掲載

日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
スポーツ 68.1	軍事・防衛 82.4	科学・技術・医学 77.9	軍事・防衛 95.4	文化・芸能 77.4	科学・技術・医学 88.4
科学・技術・医学 64.1	科学・技術・医学 81.3	スポーツ 76.8	外交・グローバルリーダーシップ 94.8	科学・技術・医学 74.2	軍事・防衛 88.2
文化・芸能 63.2	スポーツ 80.4	軍事・防衛 71.7	宇宙開発 94.8	宇宙開発 71.3	スポーツ 86.9
宇宙開発 58.6	宇宙開発 77.5	教育 66.6	経済・GDP 94.1	教育 71.2	宇宙開発 85.2
教育 55.0	文化・芸能 74.4	文化・芸能 66.4	科学・技術・医学 94.0	スポーツ 69.7	教育 84.8
社会保障・福祉 52.3	外交・グローバルリーダーシップ 63.8	社会保障・福祉 64.1	スポーツ 93.3	軍事・防衛 69.0	文化・芸能 84.8
軍事・防衛 50.7	経済・GDP 62.5	経済・GDP 59.2	社会保障・福祉 92.9	社会保障・福祉 65.5	外交・グローバルリーダーシップ 83.5
外交・グローバルリーダーシップ 47.7	社会保障・福祉 59.8	宇宙開発 58.0	文化・芸能 92.1	外交・グローバルリーダーシップ 62.6	経済・GDP 83.4
経済・GDP 42.6	教育 59.7	外交・グローバルリーダーシップ 57.8	教育 91.8	経済・GDP 62.4	社会保障・福祉 82.1

自分の国の将来について

自分の国の将来について、日本は「良くなる」が15.3%と、他の国に差をつけて6カ国中最下位となった。一方で、「悪くなる」との回答は、イギリス、アメリカ、韓国の順に多かった。「良くなる」という回答が最も多いのは中国（85.0%）で、次いでインド（78.3%）が多い。

質問7：自国の将来についてどう思いますか。（単一回答、各国n=1,000）



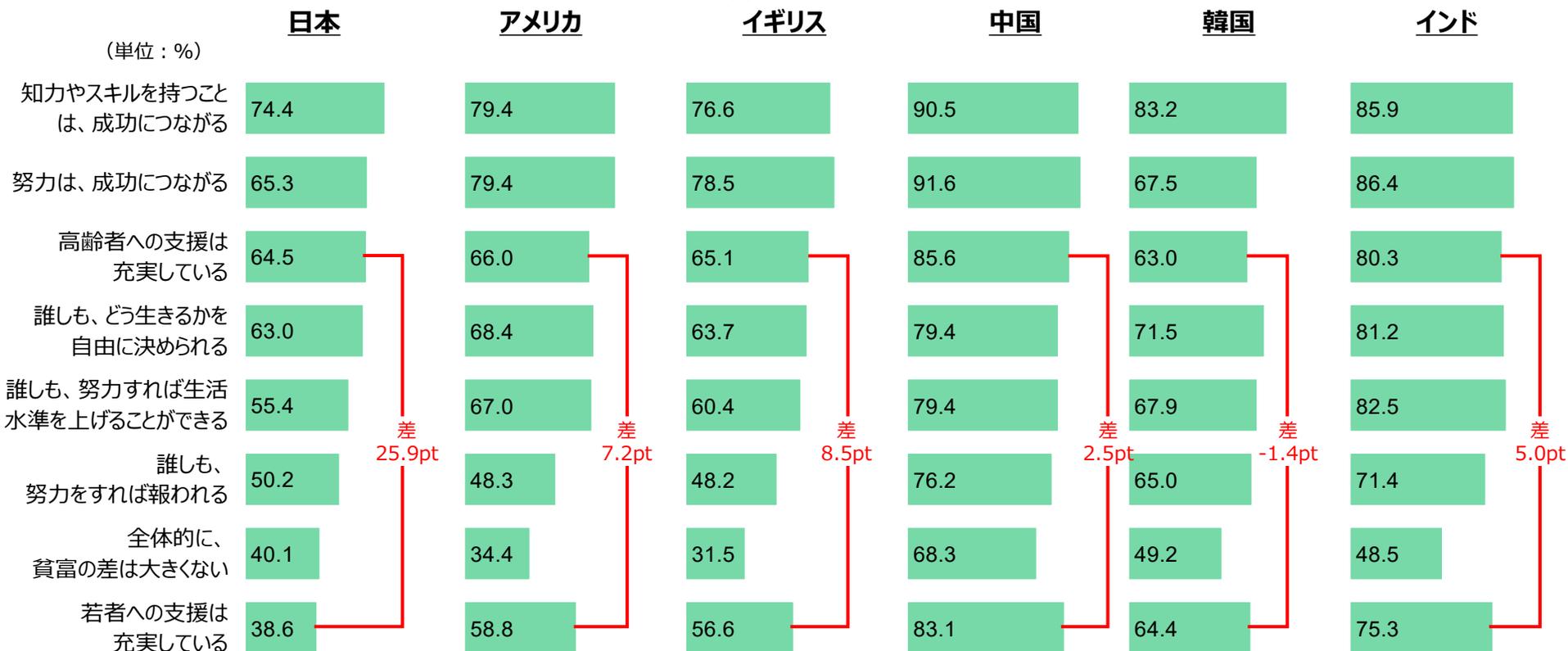
2022年1月調査 回答割合	
良くなる	悪くなる
95.7%	1.2%
83.1%	3.9%
39.1%	31.0%
36.1%	27.5%
33.8%	20.2%
13.9%	35.1%

自国について 1/3

日本では、「知力やスキルを持つことは、成功につながる」「努力は、成功につながる」に同意するとの回答が多い。日本以外の国では、「若者への支援は充実している」に同意する割合は「高齢者への支援は充実している」に同意する割合と大きな乖離はないものの、日本では大幅に下回る。

質問2：現在の自国において、以下の項目に同意しますか。(単一回答、各国n=1,000)

※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載



自国について 2/3

性的指向・性自認等、国籍、性別、障がいの有無による社会での活躍等については、6カ国とも大きなばらつきはない。日本はどの項目においても同意する割合は低い。

質問2：現在の自国において、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）
※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
性的指向・性自認等によって、社会での活躍の場は制限されない	52.3	61.3	66.3	80.1	59.8	71.6
国籍によって社会での活躍の場は制限されない	51.7	63.7	61.8	85.2	64.4	78.3
性別によって社会での活躍の場は制限されない	50.3	63.6	65.9	80.4	67.1	74.2
同じ知力とスキルがあれば、生活水準において性別による格差はない	48.7	58.2	57.3	79.1	65.9	77.4
障がいの有無によって、社会での活躍の場は制限されない	44.6	55.8	54.0	80.0	52.4	75.9

自国について 3/3

日本は全ての項目で6カ国中最下位となった。特に、「機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う」と「自国は、国際社会でリーダーシップを発揮できる」は、他の国に10ポイント以上に差をつけて同意するとの回答が少なかった。アメリカとイギリスでは、「自国は、国際社会でリーダーシップを発揮できる」と比較して、「自国には、優れたリーダーがいる」に同意する回答が少なかった。

質問4：以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
自国と比べて、他国の方が優れていると思うことがある	66.1	72.9	81.0	67.2	80.4	69.4
自国には、自分が目標としたい人物がいる	57.8	70.8	65.0	92.6	68.3	86.2
機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う	52.8	71.5	76.7	72.6	79.3	76.1
自国は、国際社会でリーダーシップを発揮できる	41.1	66.5	60.1	95.0	61.5	85.4
自国には、優れたリーダーがいる	36.8	42.9	35.6	95.0	56.6	80.8

自国のジェンダー意識・結婚・子育て観

「自国では、夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を担うことが一般的だ」「男性は男性に、女性は女性に適した勉強の分野・科目がある」「自国では、夫の方が妻よりも学歴が高く、所得も高いことが一般的だ」などの国内のジェンダー観に同意する回答は6カ国中最も少ない結果となったものの、ジェンダー格差に対する課題感は他の国よりも高い※。

※p.5ご参照

質問5：ジェンダー意識・結婚・子育て観について伺います。以下の項目について、あなたはどの程度同意しますか。
 (単一回答、各国n=1,000) ※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

	(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
自国では、一般的に、結婚して子どもを育てるのが望ましいと言われている	66.9	77.2	79.7	86.9	71.3	80.6	
自国では、夫婦の両方が働いていることが一般的だ	66.6	85.7	85.4	90.4	78.9	75.9	
自国では、学歴が高く、所得も高い男性は、結婚相手を見つけやすい	62.1	75.6	68.7	89.3	75.3	81.0	
男性は男性に、女性は女性に適した職業がある	61.0	68.3	65.7	86.1	57.2	79.9	
自国では、夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ	57.0	79.8	79.5	77.1	74.7	84.1	
将来結婚するとしたら、法律婚だけでなく、事実婚も選択肢に入と思う	57.0	70.5	68.4	82.9	67.9	82.5	
自国では、学歴が高く、所得も高い女性は、結婚相手を見つけやすい	55.0	62.0	59.6	82.1	71.1	74.7	
将来子どもを育てるとしたら、出産だけでなく、養子縁組も選択肢に入と思う	55.0	74.3	67.4	86.8	64.8	77.8	
男性は男性に、女性は女性に適した勉強の分野・科目がある	52.4	65.2	60.3	88.6	53.8	78.5	
自国では、夫の方が妻よりも学歴が高く、所得も高いことが一般的だ	51.8	62.3	58.1	81.4	66.0	76.7	

自国で暮らす大人にとって重要な資質

6カ国共通して、「多様性を理解し少数者を尊重する」「他人との違いを恐れず、個性を発揮する」が上位に挙がった。アメリカ、イギリス、韓国、インドにおいては、「他人との違いを恐れず、個性を発揮する」と同程度に「他人との衝突を避け、調和を重視する」との回答も多かった。

質問6：以下の項目のうち、自国で暮らす大人にとって、重要な資質・能力はどれですか。3つまで選択してください。
(複数回答3つまで)

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)							
1位	多様性*を理解し少数者を尊重する	37.1%	1位	多様性*を理解し少数者を尊重する	52.7%	1位	多様性*を理解し少数者を尊重する	40.7%	1位	他人との衝突を避け、調和を重視する	38.9%	1位	多様性*を理解し少数者を尊重する	46.1%			
2位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	32.8%	2位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	36.7%	2位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	39.6%	2位	前例にとらわれず、新しく創造的である	36.9%	2位	他人との衝突を避け、調和を重視する	35.6%	2位	前例にとらわれず、新しく創造的である	37.3%
3位	前例にとらわれず、新しく創造的である	28.5%	3位	他人との衝突を避け、調和を重視する	36.5%	3位	他人との衝突を避け、調和を重視する	38.5%	3位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	35.0%	3位	多様性*を理解し少数者を尊重する	35.2%	3位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	33.7%
4位	地域の間人関係やコミュニティを大切に する	28.0%	4位	前例にとらわれず、新しく創造的である	33.2%	4位	地域の間人関係やコミュニティを大切に する	34.7%	4位	社会の伝統やルールを 順守する	32.0%	4位	他人との違いを恐れず、個性を発揮する	34.5%	4位	他人との衝突を避け、調和を重視する	31.0%
5位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	23.3%	5位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	32.1%	5位	前例にとらわれず、新しく創造的である	31.6%	5位	地域の間人関係やコミュニティを大切に する	30.7%	5位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	27.8%	5位	社会の伝統やルールを順守する	28.0%
6位	社会の伝統やルールを順守する	23.0%	6位	地域の間人関係やコミュニティを大切に する	30.8%	6位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	24.1%	6位	他人との衝突を避け、調和を重視する	29.8%	6位	前例にとらわれず、新しく創造的である	27.3%	6位	地域の間人関係やコミュニティを大切に する	27.2%
7位	他人との衝突を避け、調和を重視する	21.5%	7位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	20.2%	7位	社会の伝統やルールを順守する	21.2%	7位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	27.5%	7位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	25.5%	7位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	24.1%
8位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	21.3%	8位	社会の伝統やルールを順守する	19.0%	8位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	19.5%	8位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	19.5%	8位	社会の伝統やルールを順守する	24.5%	8位	リーダーシップを発揮して他者を率いる	22.1%
9位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	12.6%	9位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	16.7%	9位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	14.0%	9位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	17.9%	9位	リーダーに従い、リーダーを適切に支援する	21.5%	9位	地域や国境を越えてグローバルに能力を 発揮する	18.8%

自分自身について

日本では「自分のしていることには、目的や意味がある」「将来の夢を持っている」「自分は他人から必要とされている」「自分には人に誇れる個性がある」で、他の国に10pt以上差をつけて同意するとの回答が少なかった。

質問9：自分自身について、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）
※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある	71.3	85.2	82.7	90.2	77.6	87.2
目標を立て、何かを達成した経験がある	68.9	82.9	80.9	89.0	78.3	83.9
自分が他人からどのような評価を受けているか気になる	68.4	69.4	72.6	82.5	77.6	77.1
日々の生活が楽しい	66.9	75.0	68.6	84.6	65.8	77.8
日々の生活で不安やゆううつを感じる	65.5	65.7	64.1	69.1	63.0	67.8
自分の人生には、目標や方向性がある	63.2	78.6	77.5	86.0	71.9	87.2
自分のしていることには、目的や意味がある	62.8	78.0	72.9	90.2	74.2	83.9
将来の夢を持っている	60.1	84.7	82.0	88.2	73.5	88.4
自分は他人から必要とされている	56.8	73.0	71.5	85.5	70.1	70.2
自分には人に誇れる個性がある	53.5	81.1	75.4	84.8	65.6	83.9

自分の生活についての満足度

自分の生活において満足していることについて、日本と韓国は「家族との関係」、アメリカ、中国、インドは「自分らしくいること」、イギリスは「友人との関係」との回答が最も多い結果となった。「総合的に見た、自分の人生」に満足しているとの回答は、日本が唯一7割を切っている。

質問10：以下の項目について、あなたは満足していますか。（単一回答、各国n=1,000）

※「満足している」+「どちらかといえば満足している」の回答率を、日本の高い順（「総合的に見た、自分の人生」を除く）に掲載

（単位：％）

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
家族との関係	72.6	自分らしくいること 78.3	友人との関係 78.7	自分らしくいること 91.2	家族との関係 77.0	自分らしくいること 85.3
日々の生活	70.0	友人との関係 76.6	家族との関係 78.0	友人との関係 90.4	友人との関係 75.7	家族との関係 83.3
友人との関係	69.4	自分の生活水準 (家、洋服、車など) 75.8	自分らしくいること 76.4	生きる意義・ 生きがい 89.0	自分の生活水準 (家、洋服、車など) 73.3	生きる意義・ 生きがい 80.4
自分の生活水準 (家、洋服、車など)	69.3	家族との関係 74.2	自分の生活水準 (家、洋服、車など) 73.9	家族との関係 88.8	日々の生活 70.2	友人との関係 80.0
自分らしくいること	68.1	日々の生活 72.6	日々の生活 68.5	日々の生活 88.2	生きる意義・ 生きがい 69.2	日々の生活 76.7
生きる意義・ 生きがい	65.2	生きる意義・ 生きがい 71.9	生きる意義・ 生きがい 68.3	自分の生活水準 (家、洋服、車など) 87.4	自分らしくいること 67.0	自分の生活水準 (家、洋服、車など) 75.9
総合的に見た、 自分の人生	66.5	総合的に見た、 自分の人生 74.9	総合的に見た、 自分の人生 75.1	総合的に見た、 自分の人生 88.5	総合的に見た、 自分の人生 72.4	総合的に見た、 自分の人生 78.5

自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。また、日本では、「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」が5割を切っているのが特徴的。

質問11：自身と社会の関わりについて、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）
※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
国や社会に役立つことを したいと思う	64.3	78.4	77.7	93.6	71.1	85.9
自分は責任がある 社会の一員だと思う	61.1	79.4	80.7	92.1	74.5	86.8
ボランティア活動に参加したい	60.4	76.3	68.6	89.8	70.5	79.2
慈善活動のために 寄付をしたい	58.4	78.4	79.5	87.2	66.6	84.4
自分は大人だと思う	49.6	76.6	75.8	90.0	54.8	81.7
自分の行動で、 国や社会を変えられると思う	45.8	65.6	56.1	83.7	60.8	80.6

自身と社会の関わりについて 2/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。日本では、唯一、「自分が生きていくうえで、他人に迷惑をかけることは重要だ」が7割を超えた。

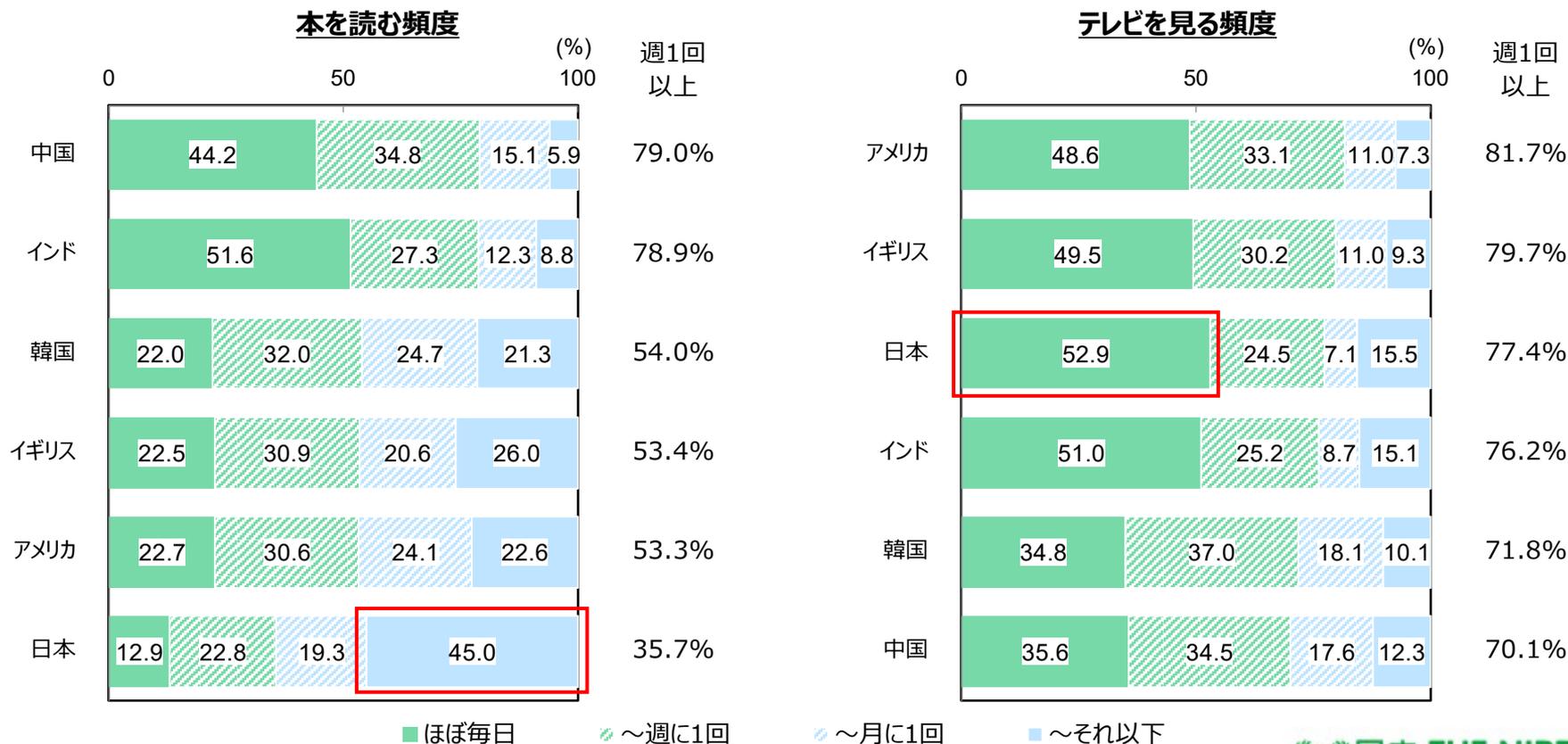
質問11：自身と社会の関わりについて、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）
 ※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
自分が生きていくうえで、他人に迷惑をかけることは重要だ	71.9	83.1	84.4	92.0	83.3	86.4
政治や選挙は、自分の生活に影響すると思う	64.6	69.8	67.6	81.2	70.0	68.2
政治や選挙、社会問題について、関心がある	56.5	61.7	57.8	81.5	65.0	62.8
政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている	53.5	75.6	68.0	82.7	64.6	73.9
政治選挙社会問題について家族や友人と議論することがある	50.5	67.3	66.3	79.8	62.6	74.9
地域の集会や行事で、近所の人と知り合う機会がある	48.0	74.8	67.4	87.7	55.3	80.6
政治や選挙、社会問題について、積極的に情報を集めている	47.2	60.2	54.0	78.0	52.3	67.5

情報・メディアに触れる頻度 1/2

日本は他の国と比較して、本を読む頻度が低く、「～それ以下」（月1回未満）との回答が45.0%を占める。一方で、テレビを見る頻度は比較的高く、「ほぼ毎日」との回答が52.9%と6カ国中最も多い。

質問12：以下の項目について、その頻度を教えてください。（単一回答、各国n=1,000）
 ※週1回以上（「ほぼ毎日」+「～週に1回」）の回答率が高い順に掲載

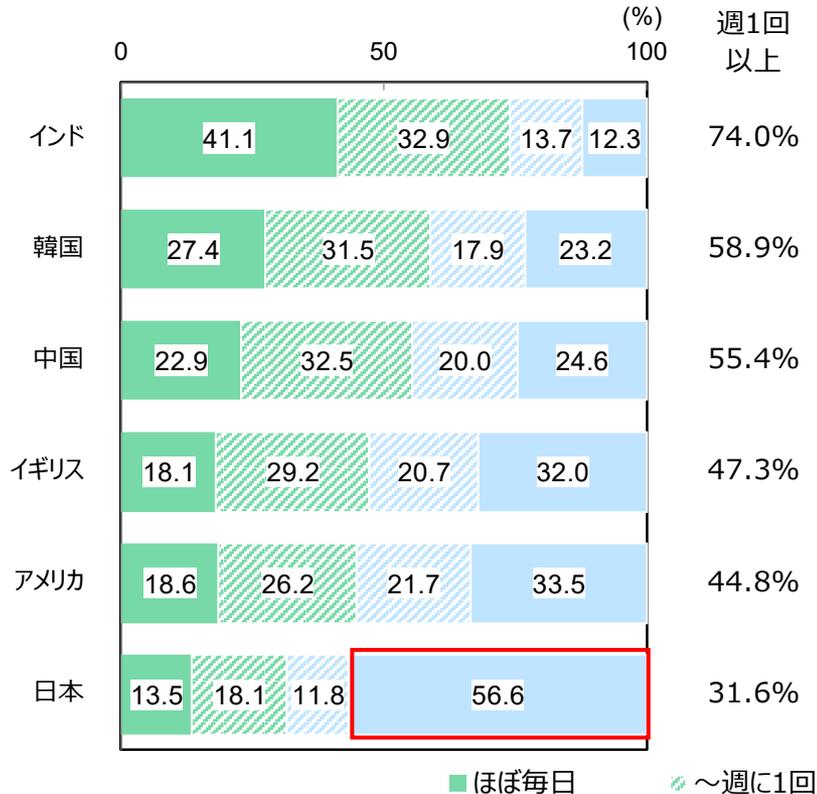


情報・メディアに触れる頻度 2/2

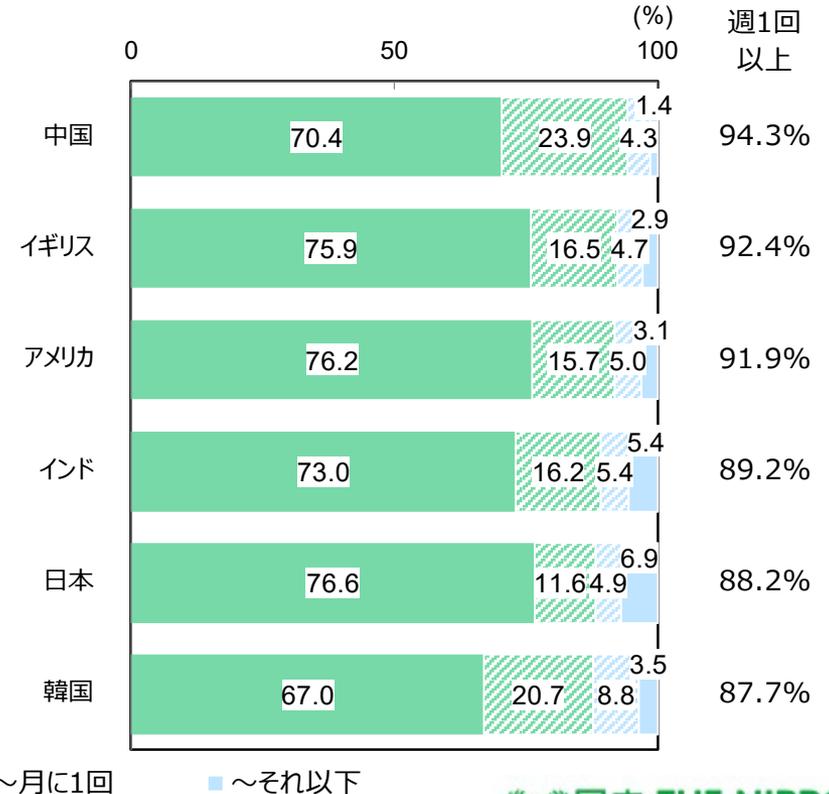
日本は他の国と比較して、新聞（新聞社のネット記事含む）を読む頻度が低く、「～月1回」（月1回以上週1回未満）との回答が56.6%を占める。SNSの投稿を見る頻度は、6カ国共通して9割程度が「週1回以上」と回答している。

質問12：以下の項目について、その頻度を教えてください。（単一回答、各国n=1,000）
 ※週1回以上（「ほぼ毎日」+「～週に1回」）の回答率が高い順に掲載

新聞（新聞社のネット記事含む）を読む頻度



SNSの投稿を見る頻度



学校で勉強をする意味として重視してきたもの

6カ国共通して、「将来の選択肢が広がる」「よりよい職業に就職できる」が上位に挙がる。日本では、「特にない」が13.5%と他の国に差をつけて多い。

質問13：学校で勉強をする意味として、あなたが重視してきたものを3つまで選択してください。
 (複数回答3つまで) ※各国上位10項目と、「特にない」のスコアを掲載

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)							
1位	将来の選択肢が広がる	24.7%	1位	将来の所得が高くなる	29.2%	1位	将来の選択肢が広がる	30.9%	1位	新しい学びや能力を得ることができる	23.8%	1位	よりよい学校に進学できる	23.1%	1位	将来の所得が高くなる	26.7%
2位	新しい学びや能力を得ることができる	18.3%	2位	よりよい職業に就職できる	29.1%	2位	将来の所得が高くなる	30.4%	2位	将来の選択肢が広がる	20.5%	2位	将来の選択肢が広がる	21.5%	2位	新しい学びや能力を得ることができる	22.4%
3位	よりよい職業に就職できる	17.2%	3位	将来の選択肢が広がる	24.1%	3位	よりよい職業に就職できる	29.0%	3位	よりよい職業に就職できる	20.2%	3位	勉強することが義務だから	20.8%	3位	よりよい職業に就職できる	21.4%
4位	自分の関心が広がる	14.7%	4位	新しい学びや能力を得ることができる	22.0%	4位	新しい学びや能力を得ることができる	21.1%	4位	専門知識を得ることができる	20.0%	3位	よりよい職業に就職できる	20.8%	4位	日々の暮らしに役に立つ	20.9%
5位	将来の所得が高くなる	14.5%	5位	日々の暮らしに役に立つ	19.1%	4位	目指したい目標が見つかる	21.1%	5位	目指したい目標が見つかる	18.6%	5位	将来の所得が高くなる	17.9%	5位	将来の選択肢が広がる	20.8%
6位	よりよい学校に進学できる	13.8%	6位	目指したい目標が見つかる	18.7%	6位	専門知識を得ることができる	19.3%	6位	自国に貢献できるようになる	18.4%	5位	周りのみんなが勉強していたから	17.9%	6位	目指したい目標が見つかる	19.1%
7位	専門知識を得ることができる	13.2%	7位	専門知識を得ることができる	17.6%	7位	よりよい学校に進学できる	19.1%	7位	将来の所得が高くなる	18.1%	7位	新しい学びや能力を得ることができる	17.0%	7位	専門知識を得ることができる	16.2%
8位	多様な意見・価値観を知ることができる	12.4%	8位	新しい人と出会う	15.0%	8位	日々の暮らしに役に立つ	15.6%	8位	多様な意見・価値観を知ることができる	17.5%	8位	目指したい目標が見つかる	16.1%	8位	よりよい学校に進学できる	15.2%
9位	勉強することが義務だから	12.2%	9位	よりよい学校に進学できる	14.6%	9位	新しい人と出会う	14.6%	9位	自分の関心が広がる	16.4%	9位	専門知識を得ることができる	13.6%	9位	自国に貢献できるようになる	14.3%
9位	目指したい目標が見つかる	12.2%	10位	楽しさ、自分の興味・関心との合致	14.1%	10位	楽しさ、自分の興味・関心との合致	13.4%	10位	楽しさ、自分の興味・関心との合致	15.2%	10位	家族から勉強するように言われたから	13.2%	10位	家族から勉強するように言われたから	13.2%
	特にない	13.5%		特にない	2.6%		特にない	1.0%		特にない	0.0%		特にない	1.4%		特にない	1.0%

仕事を選ぶうえで重視するもの

6か国共通して「給料の高さ」と「自分の趣味・関心と合致するか」が上位に挙げられていた。各国の上位10項目を見ると、「独立することができるか」のみ、日本では挙げられていなかった。また、日本では「特にない」が11.5%と他の国に差をつけて多い。

質問14：仕事を選ぶうえで、あなたが重視するものを3つまで選択してください。
 （複数回答3つまで）※各国上位10項目と、「特にない」のスコアを掲載

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)				
1位	給料の高さ	37.9%	1位	給料の高さ	38.5%	1位	給料の高さ	41.2%	1位	自分の興味・関心と合致するかどうか	36.3%	1位	給料の高さ	36.8%
2位	楽しいかどうか	30.0%	2位	自分の興味・関心と合致するかどうか	35.8%	2位	自分の興味・関心と合致するかどうか	34.6%	2位	安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	23.6%	2位	給料の高さ	33.4%
3位	安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	27.7%	3位	安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	25.4%	3位	目的や意味を感じられるかどうか	24.0%	2位	自分の興味・関心と合致するかどうか	23.6%	3位	安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	30.3%
4位	自分の興味・関心と合致するかどうか	26.3%	4位	目的や意味を感じられるかどうか	23.8%	4位	楽しいかどうか	23.4%	4位	自国に貢献できるか	21.3%	4位	楽しいかどうか	24.6%
5位	目的や意味を感じられるかどうか	15.6%	5位	楽しいかどうか	21.3%	5位	安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	22.7%	4位	自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	21.3%	5位	目的や意味を感じられるかどうか	19.5%
6位	自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	11.3%	6位	人を助けることができるか	19.5%	6位	自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	18.1%	6位	楽しいかどうか	19.5%	6位	自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	15.1%
6位	専門的な知識を活かすことができるか	11.3%	7位	独立することができるか	17.5%	7位	人を助けることができるか	17.9%	7位	目的や意味を感じられるかどうか	19.3%	7位	新しいことに挑戦する機会が多いかどうか	14.8%
8位	周囲の人・コミュニティに貢献できるか	10.6%	8位	自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	16.8%	8位	専門的な知識を活かすことができるか	16.5%	8位	専門的な知識を活かすことができるか	18.7%	8位	専門的な知識を活かすことができるか	13.1%
9位	人との接点を持つことができる・コミュニケーションを必要とするか	9.9%	9位	専門的な知識を活かすことができるか	15.2%	9位	独立することができるか	15.4%	9位	独立することができるか	14.6%	9位	他者から称賛される職業かどうか	12.8%
9位	人を助けることができるか	9.9%	10位	周囲の人・コミュニティに貢献できるか	14.1%	10位	新しいことに挑戦する機会が多いかどうか	13.9%	10位	人との接点を持つことができる・コミュニケーションを必要とするか	14.5%	10位	独立することができるか	11.4%
	特にない	11.5%		特にない	2.3%		特にない	1.1%		特にない	0.0%		特にない	0.7%

なりたい職業

日本では「芸能・音楽・映画」「医師・看護師」「教師・講師・保育士」がなりたい職業の上位に挙がる。また、「特にない」との回答が20.3%と他の国に大きく差をつけて多い。「医師・看護師」「教師・講師・保育士」「芸能・音楽・映画」「ソフトウェア開発」「デザイン・美術・写真」は6カ国共通してトップ10に挙がっている。

質問15：もしあなたが全ての「職種」や「業種」から仕事を選べるとしたら、どれを選びますか。3つまで選択してください。
 (複数回答3つまで) ※各国上位10項目と、「特にない」のスコアを掲載

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)	
1位	芸能・音楽・映画 16.7%	1位	デザイン・美術・写真 21.1%	1位	芸能・音楽・映画 17.2%	1位	教師・講師・保育士 15.3%	1位	芸能・音楽・映画 19.1%	1位	ソフトウェア技術・開発 21.6%
2位	医師・看護師 13.0%	2位	芸能・音楽・映画 19.6%	2位	教師・講師・保育士 15.8%	2位	ソフトウェア技術・開発 15.1%	2位	デザイン・美術・写真 15.4%	2位	芸能・音楽・映画 15.0%
3位	教師・講師・保育士 12.5%	3位	医師・看護師 17.9%	3位	医師・看護師 14.6%	2位	デザイン・美術・写真 15.1%	3位	デジタルインフルエンサー (SNS・ブログ) 13.9%	3位	デザイン・美術・写真 14.6%
4位	国や自治体の職員 (公務員) 8.8%	4位	デジタルインフルエンサー (SNS・ブログ) 13.1%	4位	裁判官・弁護士・検察官 12.8%	4位	医師・看護師 13.2%	4位	医師・看護師 13.0%	4位	医師・看護師 14.5%
5位	飲食・宿泊 8.5%	5位	不動産 12.0%	5位	ソフトウェア技術・開発 12.3%	5位	学術研究者 12.4%	5位	ソフトウェア技術・開発 12.4%	5位	教師・講師・保育士 14.0%
6位	デザイン・美術・写真 8.4%	6位	ソフトウェア技術・開発 11.6%	6位	不動産 12.1%	6位	国や自治体の職員 (公務員) 11.5%	6位	獣医師・動物看護師・ブリーダー 11.0%	6位	銀行・保険・証券 13.0%
7位	観光 7.7%	7位	設計・建築・建設 10.6%	7位	デザイン・美術・写真 11.8%	7位	警察・消防・保安 11.0%	7位	国や自治体の職員 (公務員) 10.4%	7位	調査・データ分析 12.5%
8位	ソフトウェア技術・開発 7.0%	8位	教師・講師・保育士 10.5%	8位	デジタルインフルエンサー (SNS・ブログ) 11.1%	8位	裁判官・弁護士・検察官 10.9%	8位	裁判官・弁護士・検察官 10.0%	8位	デジタルインフルエンサー (SNS・ブログ) 11.7%
9位	銀行・保険・証券 6.8%	8位	裁判官・弁護士・検察官 10.5%	9位	設計・建築・建設 8.8%	9位	軍人 (自衛官) 10.3%	9位	会計士・税理士 9.4%	9位	宇宙技術・開発 11.3%
10位	デジタルインフルエンサー (SNS・ブログ) 5.8%	10位	メディア・ジャーナリスト 8.8%	10位	メディア・ジャーナリスト 8.3%	10位	芸能・音楽・映画 10.2%	10位	教師・講師・保育士 9.3%	10位	観光 11.1%
	特にない 20.3%		特にない 3.2%		特にない 2.0%		特にない 0.5%		特にない 2.9%		特にない 1.4%

人生において大切にしたいと思っていること

人生において大切にしたいと思っていることについて、アメリカ、イギリス、中国、韓国、インドでは、「家族」との回答が最も多い。一方で、日本では、「自身の好きなことややりたいこと・趣味」との回答が最も多かった。

質問16：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。3つまで選択してください。（複数回答3つまで）

日本 (n=1,000)		アメリカ (n=1,000)		イギリス (n=1,000)		中国 (n=1,000)		韓国 (n=1,000)		インド (n=1,000)	
1位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 52.5%	1位	家族※ 56.5%	1位	家族※ 62.5%	1位	家族※ 58.9%	1位	家族※ 50.9%	1位	家族※ 57.7%
2位	家族※ 43.8%	2位	心身の健康 43.0%	2位	友達 45.2%	2位	心身の健康 45.5%	2位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 44.8%	2位	友達 38.8%
3位	友達 39.0%	3位	友達 41.8%	3位	心身の健康 40.5%	3位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 42.2%	3位	資産の形成 33.0%	3位	仕事・スキルアップ 36.2%
4位	心身の健康 29.4%	4位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 40.6%	4位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 35.8%	4位	資産の形成 29.0%	4位	心身の健康 27.3%	4位	心身の健康 33.0%
5位	恋愛 23.5%	5位	恋愛 28.9%	5位	恋愛 28.7%	5位	仕事・スキルアップ 27.1%	5位	友達 27.0%	5位	セルフケア・寛ぎ 32.5%
6位	仕事・スキルアップ 20.1%	6位	仕事・スキルアップ 26.9%	6位	仕事・スキルアップ 26.2%	6位	社会への貢献 24.1%	6位	仕事・スキルアップ 25.4%	6位	自身の好きなことや やりたいこと・趣味 30.8%
7位	資産の形成 15.9%	7位	セルフケア・寛ぎ 26.7%	7位	セルフケア・寛ぎ 23.8%	7位	友達 23.1%	7位	セルフケア・寛ぎ 22.0%	7位	恋愛 19.0%
8位	セルフケア・寛ぎ 10.7%	8位	社会への貢献 9.8%	8位	社会への貢献 10.9%	8位	セルフケア・寛ぎ 20.0%	8位	恋愛 21.5%	8位	社会への貢献 17.3%
9位	社会への貢献 9.9%	9位	資産の形成 7.5%	9位	資産の形成 8.7%	9位	恋愛 12.0%	9位	社会への貢献 14.8%	9位	資産の形成 12.0%
その他	1.5%	その他	1.0%	その他	1.1%	その他	0.0%	その他	0.6%	その他	0.2%